## 畠山重忠ゆかりの地巡り

日 時:5月19日(土)

コース: 鶴ヶ峰駅 (wc)→ 鎧の渡し緑道→ 首塚→ 畠山重忠公碑・さかさ竹→鶴ヶ峰コミュニティ (wc) →矢畑・越し巻き→ 薬王寺・六つ塚→駕籠塚→ 白根地区センタ (wc)→ 白根公園内・防人の 歌碑・白糸の滝・白根不動尊→帷子川親水緑道 (wc)→ 鶴ヶ峰駅にて解散 (12:30頃) (約.5 k m)

		(約 5 k m)
No.	見所	由 来 ・ 史 跡
1	鎧の渡し緑道	旧帷子川跡地を利用して公園となっている。鎌倉時代には、武士は鎧を頭上に乗
		せ川を渡ったので「鎧の渡し」といわれ、畠山重忠公の首を洗い清めたという「首
		洗い井戸」などが語り継がれてきている。
2	首塚	畠山重忠公の首はこの辺りで斬られ、鎌倉に送られた。遺体はこの場所に葬られ
		たと伝えられている。
3	畠山重忠公碑	昭和 30 年(1955)6 月 22 日畠山重忠公没後 750 年を記念して、埼玉県川本町(現・
	(逆さ矢竹)	深谷市)と鶴ヶ峰の有志により建立された。逆さ矢竹は、重忠公が矢にあたった時
		に「我が心正しかれば、この矢に枝葉を生じ繁茂せよ」といい地面に突き立てた
		二本の矢が、毎年二本ずつ増え茂り続けたと云われる。重忠公没後 800 年を記念
		して平成17年碑の横に植竹された。
4	矢畑·	北条勢の放った矢が一面につきささり、矢の畑のようになったということから
	越し巻き	「矢畑」と呼ばれている。この辺りで畠山重忠公が取り囲まれたという説と、矢
		が腰巻きのようにぐるりと取り巻いたという説がある。
5	薬王寺	以前は、今宿南町にあった。明治39年(1906)火災により焼失し、昭和3年(1928)
	曹洞宗	11 月現在地に再建された。ここ薬王寺の境内に、討ち死した畠山重忠公の軍勢 134
	(六ツ塚)	騎を埋葬したと伝えられる六ツの塚がある。毎年、命日の6月22日には、旭区観
		光協会協力で盛大な慰霊祭が開催される。
6	駕籠塚	畠山重忠公の内室「菊の前」は、この地で畠山重忠公戦死を聞いて自害し、駕籠
		ごと埋葬されたと云われる。以前は浄水場の中で竹林に囲まれていたが、昭和30
		年(1955)場外に移され、さらに、昭和 49 年(1974)現在地に整備された。
7	白根公園	万葉集巻 20 に収録された防人の歌。天平勝宝 7 年 (755)都築(旭区の昔の名称、
		武蔵国都築郡) から九州沿岸警備に派遣される防人服部於由(はとりべのおゆ)と
		その妻呰女(あため)の相聞歌碑。
		白根神社境内を流れる中掘川に大滝、谷間より流れ出る小滝がある。
		大滝は横浜市内で最大の滝と云われる(幅 7m、落差 3.5m)。
		小滝は公園内の谷間より流れ出て、行者の修行に使用されたと云われる。
		「白根のお不動さん」の愛称で親しまれている。本尊は弘法大師作と伝えられる
		一寸七分の不動明王座像。源義家が永承6年~天喜7年(1051~59)の前九年の役
		に兜内に納めて大勝し、そのお礼として伽藍を建立したのが起源といわれる。
8	帷子川親水緑	帷子川の旧河川敷を活用した公園。平成元年 12 月に開園。平成 20 年度都市景観
	道	大賞「美しいまちなみ特別賞」を受賞した。

\*コースは、道幅・歩道が狭いです。横に広がらないようご協力願います。

## <次回案内> 三ツ境とアジサイを訪ねる

日時:6月16日(土)相鉄・三ツ境駅前広場 集合・9:00~9:15 \*問合せ先\* せや・ガイドの会・竹見(**公**:045-302-3663)まで。

## 会員募集中!

\*問い合わせ先\* せや・ガイドの会 竹見(☎045-302-3663)まで。